



うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配布
美浜町立河和小学校
令和5年10月23日

読書のすすめ

11月3日の文化の日を中心にして、10月27日から11月9日までの2週間が「読書週間」です。今年度の標語は「私のペースで しおりは進む」です。この標語の作者は、「しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり。読み終わればどちらも、充実感や感動を得ることができます。これからも心に残る物語との出会いを求めて、私のペースで読書を楽しみたいと思います。」と述べています。子どもたちにも、さまざまな本を人それぞれのペースで楽しんでほしいと思います。読書は、文字を読んで描写された風景や登場人物の心情を想像することにより、想像力が養われるといわれています。その他、右のように、読書の効果はさまざまあるといわれています。

<読書の効果>

- ・読解力がつく
- ・集中力がつく
- ・作文力がつく
- ・ストレスが解消する
- ・脳が活性化する
- ・知識を得る など

河和小学校の図書室では、新美南吉特設コーナーが設置され、図書委員会の人々が描いたポップも展示してあります。今年は、新美南吉生誕110年で、美浜町図書館においても新美南吉特集展示がされています。新美南吉は、昭和12年4月から7月まで、河和第一尋常高等小学校



(現美浜町立河和小学校)の代用教員をしていました。4年生の子ども64人を教えていたそうです。南吉が河和小学校に勤めていたというご縁なのか、校長室には南吉の詩「貝殻」が掲示してあります。校庭にある池の北には石碑があります。図書室には、今回の生誕110年の記念とは別に、常に新美南吉コーナーもあります。先週の朝会で、子どもたちにも新美南吉が河和小学校に勤めていたことを紹介し、南吉の本も読んで感想を聞かせてほしいという話をしました。私は、南吉の「でんでんむしのかなしみ」が好きで、「悲しいことや嫌なことがあっても、嘆いていてもしかたがない、自分から楽しいことを探そう」と元気になるという話もしました。

読書週間や新美南吉生誕110年をよい機会とし、読書を通して、自分の世界を広げてほしいと思っています。ご家庭においても話題にしていたけると幸いです。

校長 山中 信子

12月の行事予定

12月の行事予定			掃除
1	金		○
2	土		
3	日		
4	月	人権週間～12/10(日)	/
5	火	40分4時間授業 給食あり 個人懇談会 資源回収	○
6	水	40分4時間授業 給食あり 個人懇談会 資源回収	○
7	木	40分4時間授業 給食あり 個人懇談会 資源回収	○
8	金		○
9	土		
10	日		
11	月	口座振替日	/
12	火		○
13	水		○
14	木	小委員会	○
15	金		○
16	土		
17	日		
18	月		/
19	火		○
20	水		○
21	木	5時間授業 給食最終日	/
22	金	終業式・大掃除	○
23	土		
24	日		
25	月	冬季休業(～1/6)	
26	火		
27	水		
28	木	仕事納め	
29	金	年末年始休業(～1/3) ※12/29～1/3は学校に常駐する職員はいません。	
30	土		
31	日		

今後の状況により変更することがあります

運動会

9月30日(土)は、「全力でゴールを駆け抜けろ!!～最高の戦いへ～」のスローガンのもと運動会が実施されました。今年度は令和元年度以来4年ぶりに全学年が運動場に集うことができました。前日準備では、5、6年生が本部席の机や椅子を運んだり、運動場の石拾いやとんぼがけを行った様子も新鮮に映りました。PTA役員や常任委員の方々にも本部や暑さ対策用のテント設営に力を貸していただきました。

当日も児童会役員による開閉会式の進行や体育委員会による準備体操、放送委員会による場内アナウンスなど自分の役割を果たしながら競技に参加する姿が見られました。また、記録写真撮影や競技器具の設置撤収にPTAの方々や日本福祉大学インターシップのみなさんにもご協力をいただきました。児童や大人を問わず様々な協力を得て運動会の場が整えられ、“最高の戦い”を繰り広げることができた結果、赤組44点、白組48点となり、今年度の優勝旗は赤組から白組に渡ることとなりました。

残暑と言うよりは真夏の暑さの中、開催された運動会。子どもたちの暑さを気にせず全力で競技をがんばる姿、自発的に応援する姿から子どもたちが本来もっているたくましさを感じました。来年度は2週遅らせて10月中旬に開催する予定です。



English Sports Camp

10月4日(水)は2年生を対象に「English Sports Camp」が行われました。4時間目は2組、5時間目は1組でした。活動中は英語を使用し、体をフル活用して様々な運動を行うことで、体力や英語力の向上を目指します。昨年度も2年生を対象に2回実施されましたが、本年度は12回実施予定です。授業中は、ほぼ全ての指示、説明が英語で伝えられます。児童は講師の先生方の発音を聞き取ったり、身振り手振りを見たりしながら活動していました。走ったり、跳んだりする動作に加えてストレッチをしたりボールを使ったりするなど、体の様々な部位を動かして息を上げたり、呼吸を整えたりすることで、児童が本来もっている体の力や動きを自然に発揮することができる内容でした。

講師のスチュアート先生と飯塚裕也先生、各先生方をサポートする2名のスタッフのみなさんによって授業が進められます。この「English Sports Camp」に携わる講師やスタッフみなさんの中には五輪のメダリストのご兄弟もみえるそうです。



福祉実践教室

10月12日(木)は4年2組、13日(金)は4年3組、17日(火)は4年1組で「福祉実践教室」が行われました。聴覚に障害がある方々に対するコミュニケーションの方法や生活の様子、手話の仕方について学びました。声を発することなく、身振り手振りのみによる伝言ゲームでは、物の名前(単語)を伝えることもままならず、ましてや人の気持ちや考えを伝えることの難しさを実感しました。ご自身も聴覚に障害がある講師の方からは「障害がある人も、社会で働いたり、みんなと同じように勉強したりして生活をしています。どの人も心地よく生活していくことができるように、周りで困っている人がいたら、自分から手を差し伸べられる人が増えてくれるとうれしいです」とお話をいただきました。



校外学習

9月26日(火)は3年1組、28日(木)は3年2組が「FEE」美浜店へ見学に行きました。商品陳列の工夫やバックヤードの様子など見せていただきました。店長さんへ質問をして「一日の来客は1500～2000人」「食パンは一日300～400食を販売」「従業員数は90名」「お米など重い商品はレジの近くに陳列」などと答えていただきました。見学で学んだことは「フィールずかん」「フィールのひみつ」「フィールのくふう」のタイトルで文章や図、絵を使ってまとめられています。

2年生は10月10日(火)に「河和郵便局」と「称名寺」の見学に行きました。郵便局では「昭和56年に開局」「美浜町の郵便ポスト数は48個」「一番高い切手は500円」など知ることができました。また、「ここから世界中に郵便物を届けることができます」とお話しいただきました。称名寺では「1568年に創建」「日本一の拝観者は100人」「阿弥陀三尊像がご本尊」「住職の方が「わをる」ことを論じてくださいます」。

